



2020年
シャンゼリゼ映画祭
フランス映画長編部門
批評家賞

第70回
ベルリン国際映画祭
パノラマ部門
国際批評家連盟賞特別賞

2020年
カブル映画祭
長編部門
グランプリ

みんなのヴァカンス

À L'ABORDAGE

ギヨーム・ブラック監督

人が本当に正直に演じるとき、人が本当に正直に監督するとき、
映画は瑞々しく観客の心の奥底に、人生そのものに流れ込んでくる。 —— 加瀬亮

夏の夜、セーヌ川のほとりで、フェリックスはアルマに出会い、夢のような時間を過ごす。翌朝、アルマはヴァカンスへ旅立ってしまう。フェリックスは、親友のシェリフ、相乗りアプリで知り合ったエドゥアールを道連れに、彼女を追って南フランスの田舎町ディーに乗りこむ。自分勝手に不器用なフェリックスと、生真面目なエドゥアール、その仲を取り持つ気の優しいシェリフ。サイクリング、水遊び、恋人たちのささやき。出会いとすれちがい、友情の

芽生え……。3人のヴァカンスも、みんなのヴァカンスも、まだはじまったばかり——。
女の子、もてない男、水遊び、サイクリング、嫉妬、静い……。勢いにまかせて夏を謳歌しようとする若者たちの姿を、『女っ気なし』『7月の物語』のギヨーム・ブラック監督がやさしい眼差しで描いた青春映画。南フランスのきらびやかな風景の中、不器用で愛おしいヴァカンスが、静かに映し出されていく。

ギヨーム・ブラック
監督より

私の新しい映画『みんなのヴァカンス』をみなさんに紹介できて嬉しく思います。
夏の物語、かなわぬ恋、さまざまなバックグラウンドを持つ若者たちの混沌とした友情。
みなさんがたくさん笑って、少しだけ涙を流してくれることを願っています。

<p>8月20日(土)・27日(土) 公開記念トークイベント開催決定 ゲスト:ギヨーム・ブラック監督 ※オンライン登壇</p> <p>※スケジュールは劇場HPをご確認ください。 ※ゲスト・イベント内容は予告なく変更となる場合がございます。ご了承ください。</p>	<p>同日より当劇場にて ギヨーム・ブラック特集も開催</p> <p>※スケジュールは劇場HPをご確認ください。</p>
<p>8月21日(日) 公開記念トークイベント開催決定 ゲスト:加瀬亮</p> <p>※スケジュールは劇場HPをご確認ください。 ※ゲスト・イベント内容は予告なく変更となる場合がございます。ご了承ください。</p>	

監督:ギヨーム・ブラック / 撮影:フラン・ギシャウア / 出演:エリック・ナンチュアング、サリフ・ンセ、エドゥアール・シュルピス、アスマ・メサウダネス
アナ・ブラゴジヴィッチ、リュシー・ガロ、マルタン・メニエ、ニコラ・ビエトリ、イリナ・ブラック・ラベルグ
2020年/フランス/フランス語/カラー/100分/1.66:1/1.5.1ch/DCP/原題:À L'ABORDAGE/字幕翻訳:高部義之/配給:エタンチュ/宣伝:大塚、木村洋子 ©2020 - Geko Films - ARTE France minna-vacances.com

2022年8月20日(土)より公開

- 『みんなのヴァカンス』
 - 当日料金(税込): 一般1,800円/大学・専門学校生1,400円
 - 会員・シニア1,200円/高校生800円(オンラインは900円)
 - 中学生以下500円(オンラインは600円)
- 『遺贈者』+『女っ気なし』
- 『やさしい人』
- 『勇者たちの休息』+『7月の物語』

リピーター特典
会期中、複数ご鑑賞の方には下記の特典があります。
※数量限定(チケット半券を劇場受付にご提出ください)

- 2作品ご鑑賞 → 『みんなのヴァカンス』B3ポスタープレゼント
- 全4作品ご鑑賞 → 『女っ気なし』B3ポスタープレゼント

ユーロスペース
EUROSPACE

渋谷区円山町1-5 KINOHAUS 3F
渋谷文化村前交差点左折

03-3461-0211
www.eurospace.jp



GERO FILMS and ARTE FRANCE present **À L'ABORDAGE** written by Guillaume BRAC
with Eric Montecheaux, Sahil OSSÉ, Edouard SORPICE, Asma MESSAOUDIENE, Ana BLAGOJEVIC, Lucie GALLO, Martin MESNIER, Nicolas PIETRI, Cécile FEUILLET, Jordan REZGOU
Screenplay: Guillaume BRAC and Catherine PAILLÉ. Produced by Catherine DEBARTY. Produced by Alain GAUCHARDOT. Edited by Emmanuel BORNAT, Vincent VATOUX, Vincent VERDIOUX. Production Manager: Thomas BAKIM. Song Manager: Thomas PERNOU. Director of Photography: Marine GALLIANO. Music by Raphaële PELLOQUET. Line Producer: Marine LEPONTRE. In association with ARTE France, with the participation of the Centre national du cinéma et de l'image animée. With the support of the Région Auvergne Rhône Alpes and the production of THE CRC, in partnership with the Conservatoire National Supérieur d'Art Dramatique, International Film Festival of the Party Film Sales.

女っ気なし Un monde sans femmes

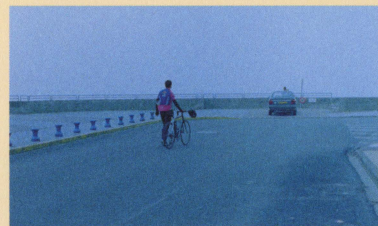


ギヨーム・ブラック監督の 劇場デビュー作

フランス北部の小さな町オルト。夏の終わり、地元の青年シルヴァンが管理するアパートを、ヴァカンスに来た母娘が訪れる。明るくて奔放な母と少し内気な娘。3人は海水浴や買い物をして仲良く過ごしていたが、やがてヴァカンスの終わりが近づき……。

監督：ギヨーム・ブラック／撮影：トム・アラリ
出演：ヴァンサン・マケニュー、ロール・カラミー、コンスタンス・ルソー、ロラン・パボ

2011年 / フランス / フランス語 / カラー / 58分 / 1.85:1 / 5.1ch
DCP / 原題：Un monde sans femmes / 日本語字幕：マイアットかおり
配給：エタンチエ © Année Zéro - Nonon Films - Emmanuelle Michaux



遭難者 Le Naufragé (『女っ気なし』と併映)

『女っ気なし』のプロローグとなる作品

フランス北部の町オルトで、自転車パンクしたリュック。それを見た地元の青年シルヴァン。シルヴァンはリュックを助けようとするが……。

監督：ギヨーム・ブラック／撮影：トム・アラリ／出演：ジュリアン・リュカ、ヴァンサン・マケニュー、アダライド・ルル
2009年 / フランス / フランス語 / カラー / 25分 / 1.85:1 / 5.1ch / DCP / 原題：Le Naufragé / 日本語字幕：高部義之
配給：エタンチエ © Année Zéro - Kazak Productions

『遭難者』+『女っ気なし』/上映時間：約83分



やさしい人 Tonnerre

ギヨーム・ブラック監督の長篇第一作

フランス・ブルゴーニュ地方、まもなく冬を迎える静かな町トネル。少しでも名の知れたミュージシャンのマクシムは、殺伐としたパリの生活から逃れ、実家に戻ってくる。しかし父親とは、どこかぎこちない雰囲気。そんな中、マクシムは心の隙間を埋める若い女性と出会う。ワイン工場に行ったり、スキーをしたり、互いに心を通わせる二人。このまま幸せがつづくと思っていたが、突然、彼女はマクシムの前から姿を消す……。

監督：ギヨーム・ブラック／撮影：トム・アラリ／主演：ヴァンサン・マケニュー、ソレーヌ・リゴ、ベルナール・メネズ
2013年 / フランス / フランス語 / カラー / 100分 / 1.85:1 / 5.1ch / DCP / 原題：Tonnerre / 日本語字幕：高部義之 / 配給：エタンチエ
© 2013 RECTANGLE PRODUCTIONS - WILD BUNCH - FRANCE 3 CINEMA



7月の物語

Contes de Juillet

パリと郊外。
5人の若い女と5人の若い男。
二つの物語。ある夏の日。

第一部「日曜日の友だち」

L'Amie du dimanche

7月の晴れた日曜日、会社の同僚ミレナとリュシーは、女二人でパリ郊外セルージュ＝ポントワーズのレジャーセンターへ遊びに行く。そこで偶然、ジャンという青年と出会い、芽生え始めた二人の友情に亀裂が入る。

第二部「ハンネと革命記念日」

Hanne et la fête nationale

7月14日、革命記念日で盛り上がるパリ。国際大学都市に住む女子留学生のハンネは、明日の帰国を前にパリ最後の夜を楽しもうとするが……。

ギヨーム・ブラック監督が、フランス国立高等演劇学校の学生たちと作り上げた二つのパートからなる作品。ヴァカンスシーズンのはじまりに浮きたつ若い男女のささやかな戯れを、2016年7月の現実のパリとその郊外に描き出した。

撮影期間はそれぞれ5日間、そして3人の技術スタッフと少ない機材で行った。こうした制約をあえて自らに課すことで、ギヨーム・ブラックは映画に自由な息吹を取り戻し、私たちの世界を映し出している。

監督：ギヨーム・ブラック／撮影：アラン・ギシャウア
2017年 / フランス / フランス語 / カラー / 71分 / 1.33:1 / 5.1ch / DCP
原題：Contes de juillet / 日本語字幕：高部義之 / 配給：エタンチエ
© bathysphere - CNSAD 2018



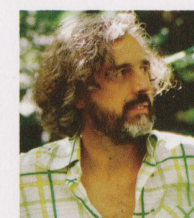
勇者たちの休息

Le Repos des braves

スイスとフランスに跨るレマン湖畔からアルプス山脈を抜け、地中海のニースに至る自転車観光ルート「大アルプス・ルート」。約720キロからなるそのルートを縦断しようと毎年6月末、約60人もの自転車愛好家たちが集まってくる。ギヨーム・ブラックは、すでに仕事をリタイアした自転車愛好家たちにカメラを向ける。なぜ寒さや疲れと闘い走ろうとするのか？ 家に戻ってから何ができるのか？ どうやったら孤独や退屈を逃れられるのか？ ギヨーム・ブラックのやさしい眼差しのなかで、彼らは心情を打ち明ける。その告白をとおして、仕事の世界と私たちの関係が見えてくる。

監督：ギヨーム・ブラック／撮影：マルタン・リット
2016年 / フランス / フランス語 / カラー / 38分 / 1.85:1 / 5.1ch / DCP
原題：Le Repos des braves / 日本語字幕：高部義之 / 配給：エタンチエ
© bathysphere productions 2016

『勇者たちの休息』+『7月の物語』/上映時間：約110分



© Trois Couleurs

1977年パリ生まれ。配給や製作の研修生として映画にかかわった後、La Fémis(国立高等映像音響芸術学校)に入学。専攻は監督科ではなく製作科だが、在学中に短篇を監督している。2008年、僅かな資金、少人数で映画を撮るため、友人と製作会社「アネ・ゼロ」(Année Zéro)を設立する。この会社で『遭難者』『女っ気なし』を製作。2013年、長篇第一作『やさしい人』が、第66回ロカルノ国際映画祭コンペティション部門に出品される。2016年、短篇ドキュメンタリー『勇者たちの休息』。2017年、『7月の物語』を第70回ロカルノ国際映画祭(アウト・オブ・コンペティション部門)へ出品。第一部「日曜日の友だち」はジャン・ヴィゴ賞を受賞(短篇部門)。2018年、長篇ドキュメンタリー『宝島』。2019年夏、『みんなのヴァカンス』を撮影。この作品は2020年 第70回ベルリン国際映画祭(パノラマ部門)に選出され、国際映画批評家連盟賞特別賞を受賞。フランスでは2021年に劇場公開された。

監督/ギヨーム・ブラック Guillaume Brac

フィルモグラフィ

2009年：短篇『遭難者』 *Le Naufragé*
2011年：中篇『女っ気なし』 *Un monde sans femmes*
2013年：長篇第一作『やさしい人』 *Tonnerre*
2016年：『勇者たちの休息』 *Le Repos des braves* 短篇ドキュメンタリー
2017年：『7月の物語』 *Contes de juillet*
2018年：『宝島』 *L'île au trésor* 長篇ドキュメンタリー
2020年：『みんなのヴァカンス』 *À l'abordage*